

部活動での活躍

部活動の記録

東北高等学校選手権大会
 ○個人
 水泳：男子高飛込 第2位・男子3m飛板飛込 第1位
 背泳ぎ100m 第4位・背泳ぎ200m 第4位
 フェンシング：男子フルール 第5位
 女子フルール 第8位

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)
 ○団体
 フェンシング女子 第5位

置賜地区高等学校新人体育大会
 ○団体
〈第1位(優勝)〉 山岳男子：優秀、バドミントン女子、剣道女子、
 ホッケー男子、フェンシング女子
〈第2位〉 卓球男子、卓球女子、フェンシング男子、柔道女子、
 ホッケー女子
〈第3位〉 ソフトテニス男子、ソフトテニス女子、サッカー、
 バドミントン男子、剣道男子、柔道男子、
 弓道女子：5人立

○個人
〈第1位(優勝)〉 陸上競技：男子5000mW・走高跳・走幅跳
 テニス：女子シングルス
 フェンシング：男子エペ・女子エペ・女子フルール・女子サーブル
 柔道：女子52kg級・57kg級、剣道：男子・女子
〈第2位〉 陸上競技：男子3000mSC・走高跳・女子200m・3000m
 バドミントン：女子ダブルス
 フェンシング：女子エペ・女子サーブル
 剣道：女子、柔道：男子60kg級・66kg級・90kg級
 弓道：女子、テニス：男子シングルス
〈第3位〉 陸上競技：男子三段跳・4×100mR・女子3000m・4×100mR
 ソフトテニス：男子個人・女子個人
 バドミントン：女子シングルス
 フェンシング：女子フルール・男子エペ・男子サーブル・女子サーブル
 柔道：男子66kg級・73kg級

山形県高等学校新人大会
 ○団体
〈第1位(優勝)〉 フェンシング女子
〈第2位〉 ホッケー男子、ホッケー女子、
 弓道女子：3人立→東北新人大会第2位
 フェンシング男子

☆個人
〈第1位(優勝)〉 フェンシング：女子フルール・女子エペ・女子サーブル
〈第2位〉 フェンシング：女子フルール・女子エペ
〈第3位〉 水泳：男子背泳ぎ100m→東北新人大会第2位
 陸上競技：男子5000m
 水泳：男子背泳ぎ200m→東北新人大会第3位
 フェンシング：男子エペ・女子フルール・女子エペ
 *陸上競技：男子走高跳第4位・走幅跳第4位・三段跳第4位で東北大会出場
 *水泳：男子50m自由形第5位・女子200m自由形第4位で東北大会出場

文化・生産系部活動
 ○コースーパーサイエンスクラブ
 山形県高等学校総合文化祭：科学専門部長賞
 日本動物学会第85回大会高校生ポスター発表：優秀賞
 東北大学科学者の卵養成講座：研究支援校(2種)
 館山りんごスイーツコンテスト：準グランプリ
 ○調理科学
 ○美術
 ○吹奏楽研究クラブ
 全日本吹奏楽コンクール置賜地区予選会：優秀
 全日本吹奏楽コンクール山形県大会：銀賞
 第36回高校新聞コンクール：優良賞
 第13回山形県高校文芸コンクール：散文部門 優秀賞
 科学の甲子園山形県大会：第1位(全国大会出場)

インターハイには今年で二年連続出場というこ
 とになります。今年のインターハイは、昨年より
 も緊張せず落ち着いて自分の演技をすることがで
 きました。目標であった八位入賞には届きません
 でしたが、決勝まで進み、九位に入ることが出来
 ました。九位という成績は自信にもなり、それと
 ともに新しい課題が見つかった大会となりました。
 来年のインターハイでは表彰台に上がれるよう
 に、技術向上のため、日々努力を続けていきたい
 と思います。

インターハイに参加して

水泳部 二年五組 松本 駿
 (米沢一中出身)



米沢興譲館だより
 Yonezawa Kojokan High School
 平成26年12月26日発行
 第31号
山形県立 米沢興譲館高等学校
 〒992-1443
 山形県米沢市大字笹野1101
 TEL 0238-38-4741
 FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

一流の物をつくるこだわり

私の経営に関する知識は乏しいですが、
 セゾンファクトリーの「一流の物を作るこ
 だわり」には知識の有無に関わらず、とて
 も感銘を受けるのだと感じました。
 いくつかあるこだわりの一つに「目標は
 世界。だからどんなことも惜しまない。」
 というものがありました。社長のその言葉
 には日々の社員一人ひとりが持っている熱
 い気持ち十分に込められていました。新
 しいことに挑戦し、失敗を次に生かそうと
 する姿勢は見習うべきだと思います。

私は納得のいくまで挑戦し続けるという
 ことは、学生でも、社会人になった後も必
 要不可欠なことだと思いました。一度で成
 功することは
 決して多くは
 ないけれど、
 満足のいくま
 で何度も挑戦
 する姿勢をこ
 の講演を通し
 て学びました。



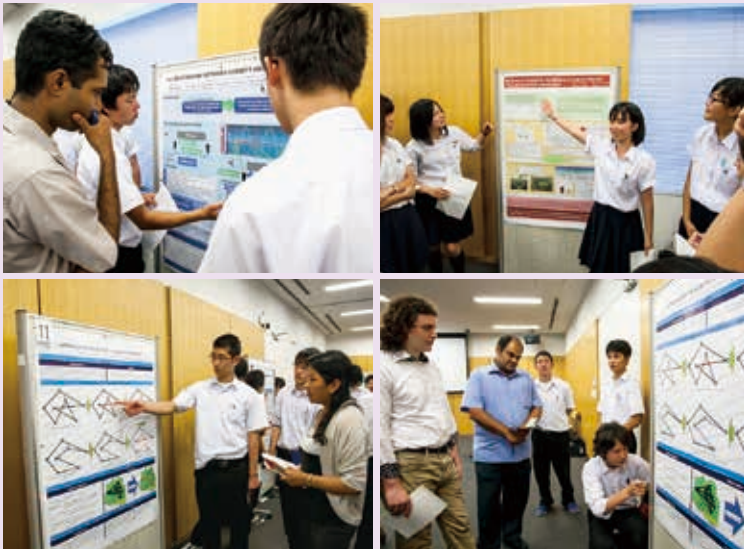
創立記念講演会

「夢の実現に向かって」
 株式会社セゾンファクトリー
 代表取締役社長
齋藤 峰彰氏



二年四組 高村 真希
 (米沢一中出身)

SSH 米沢興譲館サイエンスフォーラムin山大



興譲館サイエンスフォーラムin山大に参加して

三年一組 海和 雄亮 (米沢一中出身)

今回、私たち三年一組は、一年間の課題研究の集大成として英語でポスターセッションを行いました。当日は、多くの留学生の方や先生方、そして保護者の方々に来ていただき、私たちの研究成果を聞いていただきました。

英語での発表、英語での応答では、各々が学んできたことをフルに活用し、わからないことは仲間同士で助け合い、四苦八苦しながらも研究の内容をしっかりと伝えることができました。

これから私たちがSSHとしての活動に関わる機会がどんどん減っていくのは残念ですが、学んだことを活かして、今度は伝える側として後輩を応援していきたいです。

SSH 東京サイエンスツアー



社会と科学

一年三組 田中華歩子 (米沢三中出身)

国立歴史民族博物館で測定法について学んだ。この測定法で、トリノの聖骸布や青森県太平洋元遺跡の年代を測定した。この測定法を使えば、どんなに古い試料でも年代を測定できる。考古学の分野のみならず、様々な分野で活用できると感じた。

人間社会とロボット

一年四組 横山 迅 (米沢四中出身)

私はロボット手術について学んだ。ロボット手術は、傷や痛みも小さく済み、通院期間も短く社会復帰が早い。しかし、心臓への負担も大きい。今後、高齢化社会・手術での死亡率0%に向けて、研究開発が望まれる。

つながりの科学

一年五組 沼田 洸 (米沢一中出身)

情報通信研究機構の時空標準時研究室で、日本の標準時の決め方について学んだ。この研究室で計測した時間を、全国へと発信しているそうだ。天文学を中心にはせず、科学的な技術を利用していただくと知って驚いた。地球の自転という自然現象を超えるほどの正確さを持った科学術を発見した人間はすごいと感じた。

SSH サマースクール



SSHサマースクールに参加して

二年一組 早坂 昭慶 (川西中出身)

私たち理数科は、SSHサマースクールにスタッフとして参加しました。

興譲館の理数科を視野に入れている中学三年生を本校に招き、理数科のカリキュラムや活動について説明しました。本校の生徒による課題研究と台湾研修のプレゼンテーションでは、中学生が真剣な表情で聞いたのが印象に残っています。その後、学習会と校舎見学をしました。学習会では私たちが中学生の質問に答え、お互いにとってとても充実した時間になりました。校舎見学では、興譲館には中学校にはない施設や部活動があるので、中学生にはいい刺激になったのではないかと思います。

今回は迎える側として参加し、私たち自身にも新しく学んだことが多々ありました。

SSH つくば横浜サイエンスツアー

つくば・横浜サイエンス研修

二年一組 坂本 侑弥 (高畠一中出身)

私達は二泊三日のつくば・横浜研修を通して、現在の科学技術の最先端を体験してきました。つくば宇宙センター(JAXA)の見学では、宇宙服やロケットに使われている科学技術について学び、宇宙に対する関心が高まりました。CYBERDYNE STUDIOでは、人の生体電気を感知し、動作をアシストするパワードスーツについての説明を受けました。また、横浜で開催された全国SSH指定校生徒研究発表会では、全国の高校生の研究を積極的に見て、聞くことができました。

つくば・横浜研修で学んだことは、そこに行かなければ得ることができない貴重なものばかりでした。これらを自分たちの課題研究に活かしていきたいです。



「私の歩んだ道～導電性高分子の発見～セレンディピティーを知っていますか」

筑波大学 白川 英樹名誉教授

SSH 講演会

失敗と成功

一年四組 後藤 廉 (赤湯中出身)

SSH講演会に参加して、科学のことだけでなく、日常生活にも役に立つようなことを学ぶことができました。

どんなにたくさん賞をもらっても、どんな名誉ある賞をもらっても、その後ろには必ず失敗というものがあると思います。実験には失敗がつきものです。しかし、失敗したからといって、そこで止まってしまうはいけません。なぜ失敗したのか、どうすれば成功するのか考えることによって、失敗から学べることはたくさんあります。一つ一つの結果をよく考え、試行錯誤することで、成功を手にいられるのだと思います。

失敗はマイナスではなく、むしろプラスの事である。このことはすべての事柄において共通だと感じました。



SSH 東京キャリア研修

東京キャリア研修に参加して

二年三組 村上 眞悠 (赤湯中出身)

私達は十一月十二日〜十四日に東京キャリア研修に参加しました。忙しい日程の中でしたが、それぞれが自分の将来を見つめ、今後の進路選択へ活かすための充実した三日間になりました。

私が特に印象に残ったのは大学研修です。大学研修では、本校の卒業生の方から参考になるお話をしていたいただきました。

大学を選ぶことは自分の将来に直結し、とても大切な選択です。だからこそ明確な目標や夢をもつことが重要であると改めて感じました。高校生活も半分を過ぎ、少しずつ大学受験に近づいてきました。残された時間を大切に、今回の研修で得たものを自分の力にしていきたいです。



